

現場見学会

萩商工高等学校／機械土木科・土木科コース



(一社) 山口県建設業協会では、土木・建築分野を学ぶ高校生に建設業の魅力を感じ、理解を深めてもらうため、毎年県内各地で建設現場見学会を実施しています。今回は平成25年6月6日、萩商工高等学校・機械土木科土木コースで学ぶ2・3年生16名が参加した現場見学会を取材しました。

最初に訪れたのは、山陽小野田市厚狭の大正川排水機場です。施設がある厚狭川周辺は、平成22年の豪雨により川が氾濫し、多数の家屋の浸水や断水など甚大な被害を受けました。その後、国の「河川激甚災害対策特別緊急事業」に指定され、5年間をめどに緊急に河川改修が進められています。大正川排水機場にも、平成25年3月に2基のポンプが増設されており、事業の説明を受けた後、実際に新しいポンプを見学しました。県内最大規模のポンプを見上げ興奮ぎみの生徒の皆さんは、内部の様子を見に行ったり、「一基の値段はいくらですか？」などの質問をしたりしていました。



現場の生の声に土木の必要性を知る!

次に向かったのは、山陽小野田市の有帆川河口部にかかる小野田湾岸線「新有帆川大橋」(仮称)の建設現場です。「新有帆川大橋」は全長約480m、幅13mのコンクリート橋で、平成26年度の開通を目前に控えて作業も大詰めを迎えています。生徒の皆さんは、現場を担当しておられる宇部土木建築事務所職員の説明に熱心に耳を傾け、実際に橋の上に出ると、普段見る事の出来ない大がかりな機材や海を望む壮大な景色に目を奪われていました。

昼食後、最後の見学地となったのは美祿市にある「鍋倉大橋」の耐震補強工事現場。東北地方太平洋沖地震を受け新しい耐震性の基準が策定された折、今のままでは耐震性能が満足でないことが判明し、補強の工事を行っています。現場担当者さんの「世界で発生した地震のうち、20%が日本近辺で発生している。大きな地震の被災を教訓とし、先端の知見を盛り込みながら基準の見直しがされている」とのお話に、生徒の皆さんも頷き、真剣なまなざしで工事風景を見つめていました。

見学を終えた生徒さんからは「工事のスケールやかかる費用の大きさにびっくりした。まだ漠然としているが、自分も土木の仕事

水などにおいて改めて土木も注目を浴びています。現場見学ではその必要性や規模を身近で体感でき、特に3年生にとっては、具体的な進路を描いて役立つと思います」とおっしゃっていました。

また同じく引率された山根先生は「自分たちも普段入れない現場なので、大変貴重な経験をさせてもらえて有難いです。生徒が興味をもって土木の道に進んでもらえれば嬉しいですし、社会人となって味わう仕事の責任感や達成感を、現場の生の声を通じて知って貰えればと思います」と、生徒の皆さんの未来を楽しみにしておられました。

この経験が生徒さんの意欲や希望につながることを願っています。



山根先生



鎌田先生

2013年度 高校生現場見学 参加校 (延べ11校 351名)

土木系学科	工事名	実施日	対象生徒	学校名	
土木系学科	彦島大橋橋梁補修工事 国道435号(美祿豊田バイパス)道路改築工事	5月29日	43名	徳山商工高等学校	
		6月6日	16名	萩商工高等学校	
	厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業 妻崎開作小野田線道路改築事業	6月10日	40名	田布施農工高等学校	
		8月22日	13名	宇部西高等学校	
		8月23日	40名	山口農業高等学校	
	国道435号鍋倉大橋橋梁補修工事	9月19日	26名	下関中央工業高等学校	
		6月18日	35名	岩国工業高等学校	
	国道437号大島大橋橋梁補修工事 田布施川流域下水道浄化センター 反応タンク施設増設工事		6月18日	35名	岩国工業高等学校
	合計		7校	213名	

建築系学科	工事名	実施日	対象生徒	学校名
建築系学科	平成24年度東岐波県営住宅新築工事 維新百年記念公園陸上競技場	6月4日	38名	柳井商工高等学校
		6月6日	30名	下関中央工業高等学校
		6月13日	30名	萩商工高等学校
		6月18日	40名	岩国工業高等学校
		合計	4校	138名